

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	未来につながる人と森づくり事業										事業コード	020110202301				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成							
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用								施策コード	231					
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所							所属長	余田 学						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	83		頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和7年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	一															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 夜久野地域の人口が減少し、高齢化率が50%を超え、今後もこの傾向が続くことが予想されていることから、持続可能な地域づくりを進めていくために当地域に関わりを持つ人を増やす取り組みが必要。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 夜久野地域の豊かな地域資源（森林・丹波漆・宝山など）と歴史を活かし、担い手の育成により、持続可能な循環型の地域づくりを行う。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 地域住民と夜久野地域への移住者や夜久野に関わりを持つ人が一緒に、夜久野地域の豊かな地域資源と歴史を生かして持続可能な循環型の地域づくりをめざす。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・木育イベントの開催 ・夜久野の地域資源を再発見するためにマルシェの開催									
対象者	夜久野地域への移住希望者と夜久野地域住民					対象者数	2,787		単位あたりコスト	4.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,131		3,698		465		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		9,131		3,698		465		0					
予算財源内訳	① 一般財源	2,605		0		0		0					
	② 国支出金	2,605		1,841		0		0					
	③ 府支出金	2,871		0		465		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	1,050		1,857		0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 5,659		0									
	② 配当予算	3,472		3,698									
	③ 執行額	3,472		3,401									
	④ 執行率	100.0%		92.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.15	/	0.35	0.96	/	0.30	/					
	② 概算人件費	10,180		8,520									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,652		11,921									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	未来につながる人と森づくり事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種類	総務費国庫補助金		実績金額	392		決算附属資料	15	頁
			未来につながる人と森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)			総務費府補助金			2,141			22	
			イベント出店負担金			雑入			149			47	
			人と森づくりイベント体験料			雑入			45			47	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	-	13	5			
	夜久野地域への移住者	目標値		-	15	15	15	15	
		達成度	%	#VALUE!	87%	33%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	-	24	225			
	ワークショップ等参加者数	当初見込		-	60	60	60	60	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	夜久野の地域資源を活用した夜久野の魅力発信につながるイベントの開催								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 夜久野地域の住民や移住者にも関わってもらいながら夜久野の地域資源を活用した夜久野の魅力を発信するイベントを3回実施でき、イベント開催が直接影響したわけではないが一定数移住者が当地域に来ていただいた。 また、ファームガーデンやくのでマルシェを開催することで、一時的ではあるが夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもでき、夜久野高原を中心とする賑わいづくりへの継続を図れた。								
現状の課題 に対する 改善策	移住定住促進事業や農林業関連事業とも連携しながら、夜久野の地域資源を守り、活かしていく人づくり・まちづくりに向け、地域資源の発信を実施することで関係人口の増加、更に夜久野地域への移住者の増加に繋げる。								

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件	45	41	23			
		目標値		0	0	0	0	0	
	公害苦情件数		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	45	41	23			
		当初見込		0	0	0	0	0	
	公害苦情に係る現地調査及び指導回数								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	公害苦情に係る現地調査及び原因者への指導。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	公害苦情に係る現地調査及び指導回数								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 公害苦情や特定施設の情報を管理し、迅速な調査と原因者への指導を行うことができた。								
現状の課題 に対する 改善策	環境関連計画等により保全すべき環境基準を周知し、市民、事業者の理解と協力を求める必要がある。								

1 事業属性

(単位：千円)

|| 事業基礎情報

III 予算執行状況

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	ha	2880	2715	集計中			
		目標値		4150	4150	4150	4150	4150	
	森林経営計画認定面積		達成度	%	69%	65%	#VALUE!	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	地区	1	2	1			
		当初見込		1	2	1	1	1	
	森林境界明確化実施地区(単年度)								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・業務委託により、対象地区の森林において森林境界明確化業務を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・リモートセンシングデータを活用し、広大な面積において、効率的に森林境界明確化を実施しており、森林所有者への説明方法等も毎年ブラッシュアップを重ね、着実に森林情報の集積が進んでいる。 ・森林経営管理法に定める経営管理権集積計画や経営管理実施権配分計画等の一般的な事務手順では、森林整備の着手までにかかなりの時間を要するため、集積した情報を活用し、迅速に森林整備に繋げていくスキームを構築する必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	・令和7年度より、森林境界明確化が完了した地区において、循環型森林整備推進協定に基づき、林業事業者への斡旋という手法を用いて、森林整備を行っていくこととしており、森林整備のスピードアップを図っていく。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	福知山千年の森づくり事業										事業コード	060202220401				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成							
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用								施策コード	231					
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課						所属長	小西 晴之							
会計情報	款	06 農林業費		項	02 林業費		目	02 林業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	170		頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山千年の森づくり基本計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・平成18年に丹後天橋立大江山国定公園に三岳山から大江山連峰にかけた区域が国定公園と指定されたことにより、国定公園を市民共有の財産として守り育てるために平成21年3月に「福知山千年の森づくり基本計画」を策定。 ・令和4年3月に時代のニーズに合わせて改定。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・福知山千年の森づくり事業専用のHPを作成し、運営しているが、情報発信につながっていない。 ・誘客から森林整備につながる導線ができていない。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 「福知山千年の森づくり基本計画」に基づき、新たな計画では、自然・歴史・伝説など様々な地域資源の魅力を発信することで誘客を図り、国定公園の価値の再発見・再定義を通じた関係人口を創出することで、自然環境の保全と地域振興へとつながり、また誘客へとつながる好循環の創出を目指し、「オンリーワン」の森林公園づくりを行う。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・木育教室とトレイルラン教室が一体となった、子ども向け大江山トレイルラン教室の実施(R6) ・酒吞童子祭りと連携した木育教室の実施(R6) ・地元及び関係団体と共同で行う国定公園内の清掃活動の実施(R6) ・地域及び関係団体との官民連携となった情報共有や情報発信の会議の運営(R6) ・三岳・大江山連峰が生息地であるヒュウガミズキの植樹									
対象者	国定公園来訪者数					対象者数	79,000		単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	5,222		4,589		2,713		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		5,222		4,589		2,713		0		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	5,222		4,589		2,713		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	△ 833		△ 686						
	② 配当予算	4,389		3,903						
	③ 執行額	2,574		3,903						
	④ 執行率	58.6%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.32	/	0.00	0.40	/	0.00	/		
	② 概算人件費	2,560		3,200						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,134		7,103						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	福知山十年の森づくり事業 (豊かな森を育てる府民税市町村交付金)		種類	農林業費府補助金	実績金額	3,903	決算附属資料	26	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	79000	89000	97000			
		目標値		257000	257000	257000	25700	25700	
	国定公園への来訪者数		達成度	%	31%	35%	38%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	39	104	216			
	千年の森づくり活動参加者数	当初見込		40	120	260	260	260	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	国定公園の発展にむけて、市内外に国定公園におけるイベント開催等の情報発信することで誘客を行い、森林整備につなげていく。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・3年目のトレイルラン教室は、SNSを活用した募集を行うことによって遠方からの参加も多くあり、より広範囲に国定公園のファンとなっていただくきっかけづくりとなった。また、トレイルランレース後はアワードパーティーを行い、地域の施設活用や地域のキッチンカーの参加など、地域の発展にもつながった。 ・新たに子ども向け木育教室の実施や清掃活動の実施を行い、森林保全や誘客につながる活動を行った。 ・今後、様々なアプローチにより、より多くの方が森林に興味を持ち、持続的に森づくりに関わってもらえる仕掛け作りが重要になってくる。 ・森林整備につながる取り組みが実施できていない。	
現状の課題 に対する 改善策	「福知山千年の森づくり基本計画」を推進する官民連携の会議体と連携を図り、誘客から森林整備につながる取組を実施していく必要がある。 引き続き、「福知山千年の森 若芽サポーター」制度を利用して、若い世代の関係人口を生み出すとともに、より多くの方に森林に興味を持ってよう取組を実施する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	クビアカツヤカミキリ防除事業										事業コード	040105202401				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成							
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用								施策コード	231					
事業担当	所属	250800 産業部エネルギー・環境戦略課							所属長	山田 信義						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	05 環境保全費		会計	01 一般会計		決算附属資料	150・151		頁
計画期間	開始年度	令和6年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	特定外来生物による生態系等に係る被害等の防止に関する法律															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」について、R06年8月に本市内での成虫の生息と、樹木の食害を確認した。R06年度末現在、被害樹木は43本。京都府内で確認された53本のうちの大半が本市に所在していることが判明した。 所有者・管理者の同意を得た対象等について、R06末に伐倒処分を実施したが、R07以降さらなる被害の拡大が懸念される。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市管理地、民有地それぞれにおける観察と積極的な防除が所有者、管理者により迅速に実施される必要がある。 バラ科の樹木に産卵、侵入し、被害が確認されると薬剤散布やネット巻き、また伐倒処分等に大きな作業負担、費用負担が発生する。ネット巻対策を行った樹木は2日に1回程度の巡回で幼虫や成虫を発見し捕殺することが推奨されているが、その人的体制をいかに構築するかも課題。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) サクラ、ウメ、モモ等のバラ科樹木の生態系を保全するため、特定外来生物クビアカツヤカミキリの早期発見、早期防除を推進する。 被害木への防除対策が、所有者、管理者により積極・迅速に展開されることを目指す。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること クビアカツヤカミキリの食害が確認された市内に所在する被害木に対して、立木防除(ネット巻き、薬剤の散布・注入、巡回監視等)や伐倒防除(伐採、根覆い、燻蒸または運搬破砕等)を実施する。 京都府クビアカツヤカミキリ防除等推進指針(R06.9月策定)に基づき、被害木の防除は所有者、管理者ごとに行う。 R06については市による直接執行で対応したが、R07以降は、市施設等は市で防除、それ以外は管理者・所有者で防除し、その費用の一部を支援する補助制度を創設することとした。この2本立てで早期防除を進め、連鎖被害の拡大を抑制する。									
対象者	クビアカツヤカミキリの被害が確認された(る)樹木					対象者数	43		単位あたりコスト	148.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算		0		0		6,371		0
	② 補正予算		0		2,299		0		0
	③ 繰越予算		0		0		0		0
	前年度繰越		0		0		0		
	次年度繰越		0		0		0		0
小計(①～③)			0		2,299		6,371		0
予算財源内訳	① 一般財源		0		2,299		3,186		0
	② 国支出金		0		0		3,185		0
	③ 府支出金		0		0		0		0
	④ 地方債		0		0		0		0
	⑤ その他特財		0		0		0		0
決算情報	① 流充用額		0		70				
	② 配当予算		0		2,369				
	③ 執行額		0		2,369				
	④ 執行率				100.0%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.50	/	0.00	/	/
	② 概算人件費		0		4,000				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)			0		6,369				
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	倍	—	—	—			
	被害木の本数の対前年度増加率		目標値	(以下)	—	—	—	2.03	1.8	
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	%	—	—	100			
	被害木における防除措置率 (伐採・薬剤注入等。民間所有者・管理者自身による措置数を含む)		当初見込		—	—	—	100	100	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	被害が確認された8月に被害木のネット巻、近隣樹木への薬剤散布を実施。同時に周辺施設の被害調査を実施。さらに各戸配布による注意喚起を実施。クビアカツヤカミキリの活動がストップする冬に樹木伐採と伐採樹木の破砕等を実施。R06は民有地も含めて原則、市が防除を行った。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所 属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること クビアカツヤカミキリは産卵から成虫になるまで2年かかる昆虫である。このためR06確認被害木のうち、立木防除を継続することとした対象、またはR06被害未確認の樹木から、R07以降に新たに成虫が羽化する可能性は残る。 現状の課題として、所有者不明の樹木について、観察や調査が行き届かず、発見が遅れがちとなり、また被害が確認された場合も積極的な防除対応が進めにくいことが挙げられる。 また被害が確認された樹木に関しては、伐倒防除を行うまでの期間、定期的な現地巡回が必要であることから、市の管理または所有者等不明の被害木について巡回要員の確保も課題として抱えている。
	民地での被害木確認のために、各戸配布等で注意喚起を引き続き実施する。また自治会長会で情報共有し、各民地での被害状況の確認を要請する。 巡回要員の確保については、R07は外部協力者への謝礼金を予算化し、市職員だけでなく、市民団体等の協力を得ながら巡回を実施する予定。 民地での被害拡大の際は、各所有者にて定期的なチェックをお願いし、所有者での対応を基本方針として防除を進めていく。 また、R07以降は国庫補助制度(補助率1/2)を活用し、財源を確保しつつ、行政と市民等の連携で積極的な防除を展開する。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	都市計画費一般管理事業										事業コード	080401510203				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成							
	施 策 名	1 豊かな自然環境の保全と活用								施策コード	231					
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課							所属長	川島 奈都代						
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	187・188		頁
計画期間	開始年度	昭和30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	－															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・本市は、本市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画法に基づく都市計画を定めて都市づくりを推進している。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・本市の人口が減少傾向にあるなか、将来にわたって利便性の高い魅力的な都市を維持するため、計画的な土地利用を推進する必要がある。 ・都市計画の決定や変更にあたっては、都市の現状や課題を明確にしたうえで、住民等の理解を得ながら計画を推進する必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 本市の地域特性を活かし、まちづくりの基本的な課題の解決を図るため、将来を見据えた都市計画を定めて、秩序ある土地利用を促進するとともに、円滑な都市活動を支える都市施設の整備を推進し、都市計画マスタープランにまちの将来像として掲げる「安心して暮らせる、しなやかで強靱な都市」の実現をめざす。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・都市計画の決定等 ・都市計画審議会、景観審議会等の運営 ・都市計画関連手続きの許認可等 ・課の庶務 ・所管施設の維持管理業務(委託)									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.8	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,706		3,442		2,597		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		7,706		3,442		2,597		0						
予算財源内訳	① 一般財源	6,750		2,303		1,784		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	139		73		79		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	817		1,066		734		0						
決算情報	① 流充用額	△ 808		0										
	② 配当予算	6,898		3,442										
	③ 執行額	5,850		2,283										
	④ 執行率	84.8%		66.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	5.07	/	2.00	6.22	/	2.10	/						
	② 概算人件費	46,160		55,640										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		52,010		57,923										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	区画整理成果証明手数料		種類	土木手数料		実績金額	71		決算附属資料	13		頁
			都市計画関係証明手数料			土木手数料			7			13		
			奥書証明手数料			土木手数料			1			13		
			屋外広告物許可申請手数料			土木手数料			830			13		
			土地利用規制対策交付金			土木費府補助金			134			27		
			ほか						12					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件	0	1	0			
		目標値		0	1	1	4	未定	
	・都市計画決定または変更		達成度	%	#DIV/0!	100%	0%	0%	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1			
	・都市計画審議会の開催	当初見込		2	3	2	2	2	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・都市計画マスタープランに掲げる目標を達成するための都市計画決定等をめざした積極的な取り組み ・地域の個別の課題に対応するための説明会や勉強会の開催 ・都市計画関連手続きの厳格な運用							
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	・都市計画審議会等の経費や事務用消耗品が大半を占める本予算事業は、恒常的に欠かすことのできない事業であり、今後も継続的な運営が望まれる。 ・限られた予算や時間を有効に活用し、市民サービスの向上をめざし、各種手続きのオンライン申請等に対応する必要がある。
現状の課題 に対する 改善策	
	・都市計画図は、計画的な修正と合わせて、市民のニーズに対応した効果的な情報提供方法を確立するため、オープンデータ化の検討を進める。 ・関係法令の規定に基づく届出や許可申請等の手続きのオンライン化に積極的に対応する。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	都市計画基礎調査事業						事業コード	080401510225							
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成								
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用					施策コード	231							
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代								
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	188	頁
計画期間	開始年度	令和6年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン				R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	都市計画法第6条														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担事業)														
関連事業															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・本市は、本市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画法に基づく都市計画を定めて都市づくりを推進している。														
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・人口減少等の社会経済環境の変化に伴い、必要に応じて都市計画を変更するなど対応が必要である。 ・また、都市計画の目的の実現には時間を要するため、都市計画マスタープランを策定(改定)し、都市の将来像を市民と共有する必要がある。														
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・都市計画法第6条の規定に基づく都市計画基礎調査の実施により、都市計画の見直しに必要なデータを収集し整理する。 ・都市計画基礎調査により収集・整理したデータを分析し、本市の都市計画上の課題を明確にする。														
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・都市計画基礎調査の実施(令和6年度) ・都市計画基礎調査により収集・整理したデータ分析の実施 ・都市計画上の課題把握、明確化														
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.2						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()														
委託先・実施主体等	国際航業株式会社 京都支店														
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容			費目	実績(R6)	主な業務内容							
	委託料	10,546	都市計画基礎調査												

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算 情報	① 当初予算	0		12,644		6,000		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		0		12,644		6,000		0						
予算 財源 内 訳	① 一般財源	0		3,344		6,000		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		9,300		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算 情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	0		12,644										
	③ 執行額	0		10,546										
	④ 執行率			83.4%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員/全計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.22	/	0.00	/		/				
	② 概算人件費	0		1,760										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		12,306										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	都市計画基礎調査事業			種類	土木費府委託金		実績金額	7,196		決算附属資料	29		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	業務	—	—	1					
	・都市の現状把握 ・都市計画上の課題の明確化	目標値		—	—	1	1	—			
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	100%	0%	#VALUE!			
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	業務	—	—	1					
	・都市計画基礎調査の実施 ・データ分析の実施	当初見込		—	—	1	1	—			
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
		・調査項目の選定や必要な資料収集を行うとともに、業務を発注し早期に成果をとりまとめる。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 調査項目の選定に時間を要したが、期限内に成果をとりまとめることができた。								
現状の課題 に対する 改善策									